

夢追塾9期生入塾式

夢追塾9期生31名でスタート

——PBL方式(課題解決型学習)を主体に地域貢献を目指す——

★夢追塾9期生31名の入塾式が、平成26年6月21日(土)14時から、80年間の歴史を誇り今般リニューアルオープンした門司港の旧料亭「三宜楼(さんきろう)」百畳間で挙行された。主催は、北九州市社会福祉協議会と里山を考える会の共同事業体。

★式に先立って13時から行われたオリエンテーションでは、年間のスケジュールを発表。7月3日から基礎課程(15講座)を開始し、基礎学力・技学、9月に宿泊研修、地学と続く。11月からは専門課程(15講座)PBLを主体にまちへ出よう、11月にはプロジェクト班の研修旅行。来春2月28日には公開プレゼンテーション。3月7日卒塾式の予定。

★14時から入塾式。名誉塾長の北橋市長は「同窓生の活躍」を交えながら9期生への期待を述べた。PBL方式による塾の方針。北九州市立大の地域創生学群との交流・学生の応援。入塾生代表の田中武範氏の「詩吟 述懐(頼山陽)」による決意表明があった。

★14時40分から講話。三宜楼保存活用協会の有光会長から経緯の講和。

★「まち全体をキャンパスにPBLや若者との多世代交流をしながら塾生の今までのスキルを北九州市の地域の課題解決に生かす9期の新方式」に期待し、同窓会としても見守っていきたい。

報告 同窓会長 香月英彦

平成26年度 生涯現役夢追塾 第9期生 入塾式



平成26年6月21日



オリエンテーション



名誉塾長 北橋市長の祝辞



北九州市立大学学生代表の応援祝辞



入塾生代表の詩吟による決意表明

